

## 平成 27 年度学校評価

本年度の 重点目標 目標 (担当)	重点項目	具体的方策	評価結果と課題
1. 学習指導の充実 (教務部)	①学校設定教科「基礎教養」の充実  ②授業規律の維持  ③授業改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材の精選と充実を図り、より一層の学習効果を図る。</li> <li>・授業態度報告書の活用、授業遅刻や中抜け生徒への入室許可証の発行により、授業に取り組む姿勢の醸成を図る。</li> <li>・生徒への授業アンケートに基づく授業評価自己点検表や授業参観報告書の提出により、自分の授業を見直し、授業改善を図る手がかりとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎教養が始まり、今年度で4年目となった。各学年で、生徒の実態に合わせて実施し、進路実現の一助となった。</li> <li>・授業への取り組み姿勢がよくなり、落ち着いた雰囲気の中で授業を進めることができています。</li> <li>・生徒への授業アンケートにより、良い点と悪い点を発見することができた。その結果、今後の改善に繋がった。</li> </ul>
2. 生徒指導の徹底 (生徒指導部)	①基本的な生活習慣の確立  ②規律ある生徒集団の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい身だしなみの定着を図るため、一元化した指導の徹底を行う。</li> <li>・時間意識の向上を図り遅刻をしない指導を行う。</li> <li>・挨拶の励行により、礼節を重んじる態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪は事前・継続指導を通して良くなっている。制服は、特にスカート、靴下の確実な着用に向けて指導方法の検討が必要である。</li> <li>・遅刻数は昨年度比で5%減少(12月まで)したが、学年差が顕著であった。</li> <li>・挨拶のできる生徒は多いが元気がない。更に規範意識・帰属意識を高め、規律ある学校生活が送れるように継続した指導が必要である。</li> </ul>
3. 進路指導の強化 (進路指導部)	①進路実現に向けた個別指導の充実  ②学年団、保護者との連携によりスムーズな進路実現を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職希望者へは、社会情勢や採用状況等の情報提供を行い、早い段階での内定獲得を目指す。特に女子生徒への対応をきめ細かく行う。</li> <li>・進学希望者へは、進路研究同好会との活動と連携し、補習授業等を行うなど、進路実現に向けた実力アップを図る。</li> <li>・学年団、保護者、生徒へ進路情報提供をいち早く行い、早期の進路実現を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイムリーな情報提供ができたことにより就職希望の生徒は、希望を叶えることができた。第1次就職試験の合格率も、昨年度に比べ若干上昇した。昨年度同様学校に頼らず自己進路開拓を希望する女子生徒が若干名存在し、家事手伝いとして卒業していく。</li> <li>・当番実習や特別活動の都合で長期休業中の補習授業を中止した。代わりに、進路研究同好会の活動として、個別の英語や小論文指導を行い、進路実現となった。</li> <li>・学年の要望に応え、求められる情報を提供することができた。</li> </ul>
4. 魅力ある教育活動の展開 (1) 生徒会指導 (生徒会部)	①部活動の活性化を図る  ②生徒会活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動への積極的な参加を促し、多くの1年生が部活動に定着できるように指導する。</li> <li>・外部講師の活用など、増加する女子のニーズに対応した活動を企画する。</li> <li>・自主的な生徒会活動ができるように委員会活動の指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動の指導では、顧問の例年に増して熱心な指導により、部活動に積極的に取り組む生徒の数が増えた。バスケットボール部、サッカー部、詩舞道部などは、多くの1年生の部員が積極的に活動をしている。</li> <li>・女子が活動できる部活動の1つとして、演劇の活動希望があり、稲高祭で発表の場を設けた。</li> <li>・保健委員の活動では、清掃時に音楽を放送することにより、清掃効率を上げることができた。また、執行部も顧問の方針に従って、具体的な活動を自分たちで</li> </ul>

			判断して動けるようになった。
4. 魅力ある教育活動の展開 (2) 専門教育指導 (農場部)	<p>①農業クラブ活動の充実</p> <p>②職業資格取得指導の充実</p> <p>③実習時の正しい身だしなみと安全な実験・実習の展開</p>	<p>・県大会、東海大会、全国大会での上位入賞を目指す。</p> <p>・技術顕彰や職業資格取得の取得率向上を目指す。</p> <p>・実習にふさわしい身だしなみで、安全に配慮した実験実習の展開を図る。</p>	<p>・農業クラブ活動成果</p> <p>県 プロジェクト発表 最優秀賞 意見発表 優秀賞 (3位) 測量競技 優秀賞 (2位) 農業鑑定 優秀賞 (園芸・農業土木・生活科学)</p> <p>東海 プロジェクト発表 優秀賞 (2位)</p> <p>全国 農業鑑定競技 優秀賞 (園芸・農業土木・生活科学)</p> <p>来年度は、今年度以上の結果を残す。</p> <p>・資格取得成果</p> <p>園芸装飾3級 受験者22名全員合格 簿記検定3級 合格者10名 トレース2級 合格者30名 等</p> <p>愛知県農業技術検定の合格率が振るわない。学科として指導体制を整え、来年度は、今年度以上の結果を残す。</p> <p>・安全な実験実習について</p> <p>現在、大きな事故は起きていないが、細心の注意を払って実験・実習を行う。</p>
5. 学習環境 (施設・設備を含む)の改善 保健指導 (保健部)	<p>① 学べる環境作りを自らの手で行う</p> <p>②健康増進に向けての広報活動の充実</p> <p>③個別の支援を必要とするような生徒への対応</p>	<p>・美化週間等を通じて環境美化への意識向上を図る。</p> <p>・健康管理への意識を高める取り組みとして、広報活動を展開する。また引き続き、治療の受診督促を勧める。</p> <p>・担任・養護教諭・カウンセラー間の連携を追求し、入学前の状況もふまえ、個別に支援を必要とする生徒への対応について検討する。</p>	<p>・清掃への自覚を喚起するため、生徒の係により清掃時間に音楽を放送する取り組みを始めた。また美化週間では生徒保健委員による巡回点検を行なった。清掃の状況は良いという評価を得ている。今後は生徒が自覚を持って環境美化に取り組むよう意識の定着を図りたい。</p> <p>・生徒保健委員作成の「保健だより」は、生徒も興味を持てる内容のある「保健だより」として発行することができた。</p> <p>・担任・教育相談担当・養護教諭・カウンセラー間での情報共有はできている。特に問題のある生徒については教育相談員会を開き対応することができた。今後はさらに多くの教員や生徒から支援を必要とする生徒の情報収集ができるような取り組みをする必要がある。</p>
総合評価	<p>学習指導の面では、落ち着いた学習環境の中で学習に励んでいる。また、4年目になる基礎教養の授業は、生徒の実態に即した指導もあり進路決定の一助となった。</p> <p>生徒指導の面では、継続した根気強い指導により服装・頭髪を含めた身だしなみは向上し、遅刻者数は減少傾向に転じた。あいさつができるが、元気がなく規範意識、帰属意識が高まる指導を継続したい。</p> <p>進路指導の面では、適切な進路情報を提供することができた。就職希望者はほぼ希望する進路実現が図れた。</p> <p>特別活動の面では、部活動顧問の適性配置により部活動が活発になりつつある。生徒会活動も、自主的な活動を促し、主体性が生まれつつある。</p> <p>専門教育の面では、農業クラブ活動、資格取得共に成果は今一步であった。指導体制の見直しを図る必要がある。事故再発防止に向けて安全マニュアルの励行に取り組む。</p> <p>学習環境の面では、清掃時の音楽により清掃効率が上がった。「保健だより」の発行により健康増進への意識付けができた。しかし、個別支援が必要な生徒への対応については、積極的な情報共有が必要である。</p> <p>今後とも、授業規律の確立や学習環境の整備、交通マナー、身だしなみの意識向上、進路指導の充実、特別活動に対する自主性の向上に向けた改善工夫に全職員で取り組む。また、専門学習や実技を伴う教科・科目では、安全マニュアルに沿った授業展開を図る。</p>		